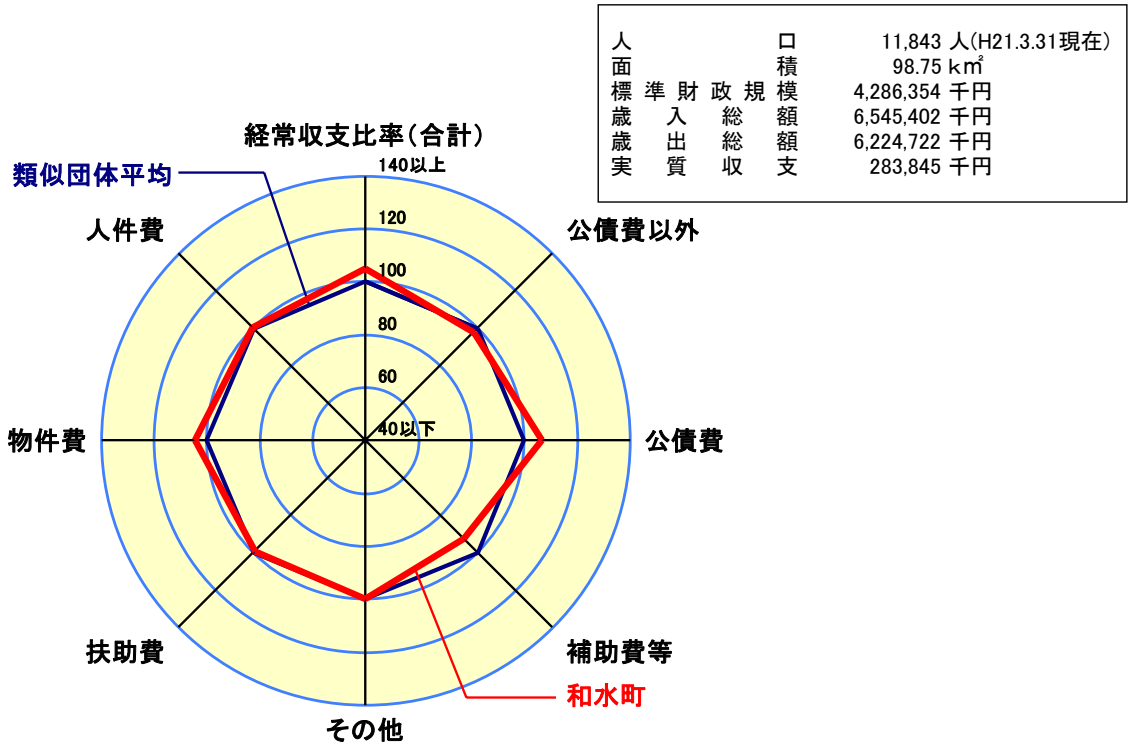
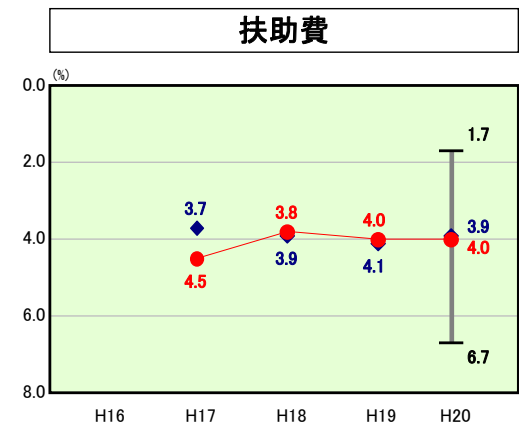
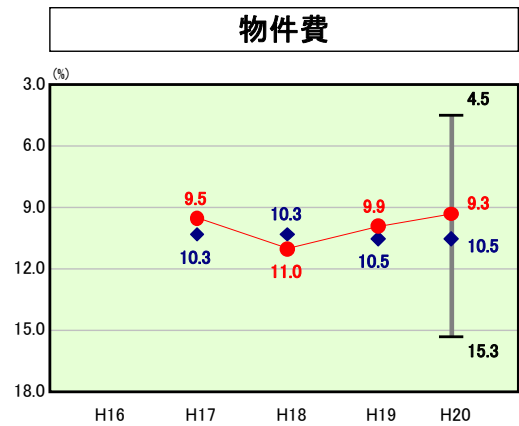
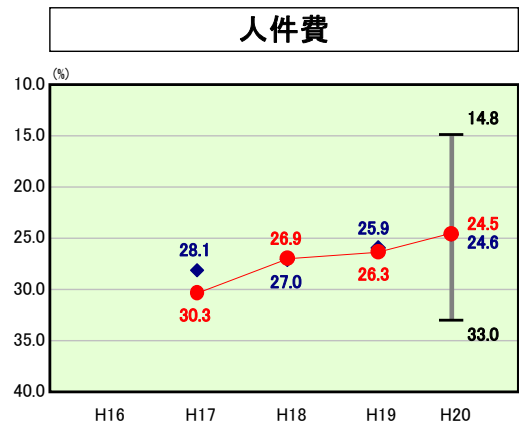
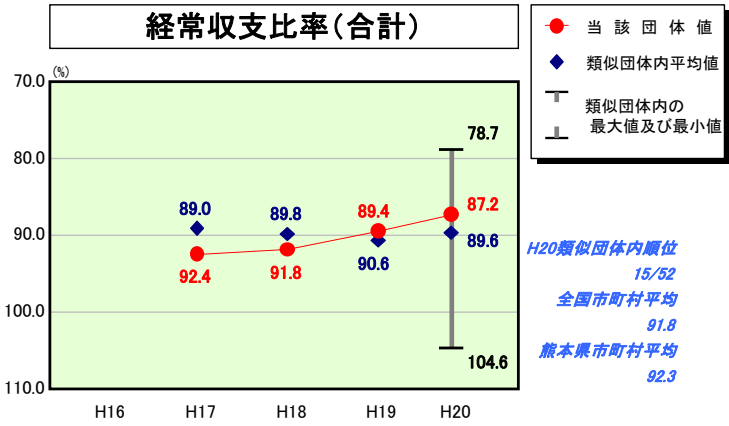


歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

熊本県 和水町

経常収支比率の分析



- ※ 1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

《人件費》
平成18年3月1日に合併し、H17年からH20年まで順調に人件費の削減は行われているので、H20年は類似団体平均と比較すると少し低くなっている。今後も集中改革プランに添った改善(退職者の1/3以内の新規採用)を図って行く。

《物件費》
合併効果やH19年度に実施した旅費規程の見直しの効果もあり、類似団体平均よりも低い数値となっている。今後も数値が前年度対比以上ににならないよう引き続き物件費の節減に努める。

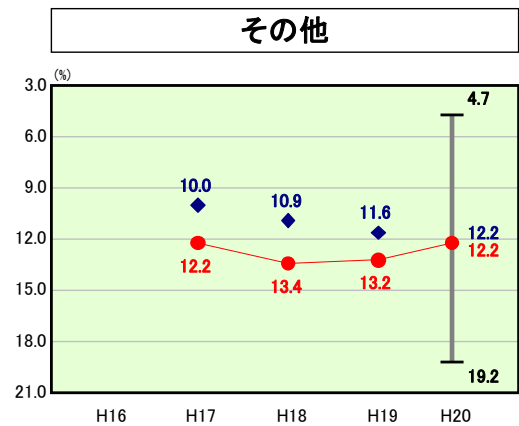
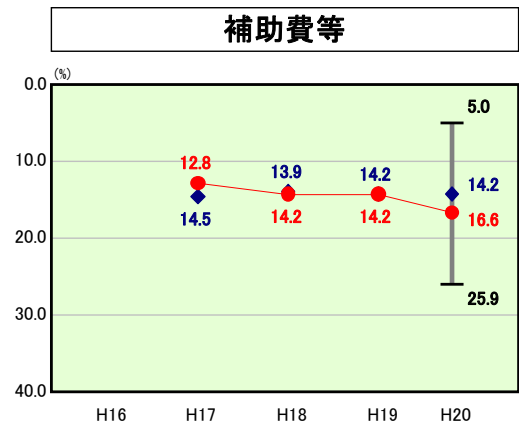
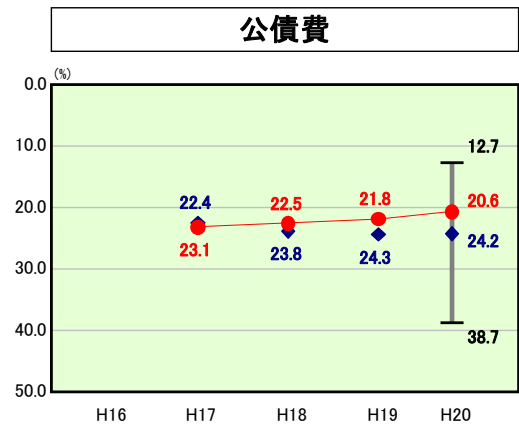
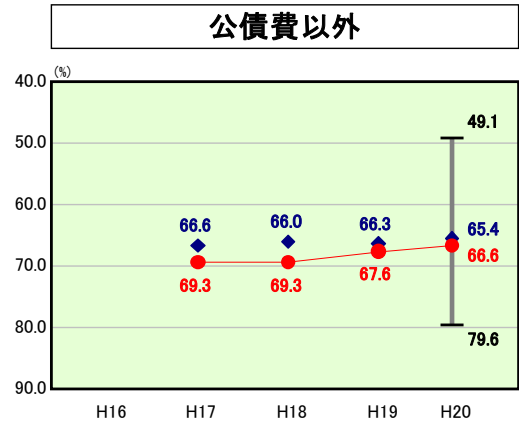
《扶助費》
扶助費に係る経常収支比率が類似団体平均よりも若干高くなっている。要因としては障がい者対策費などの支出増が関係しているが、財政を圧迫することがないように留意して行く。

《補助費等》
補助費等に係る経常収支比率が類似団体平均を上まわっているのは各種団体、イベント開催への補助金が多額になっており、比率も上昇傾向にある。今後は、各種団体の統合を推進し、イベントの見直しを行いながら補助金の適正化を図って行きたい。

《公債費》
合併後、計画的に削減しているので減少傾向にあり、類似団体平均よりも低い数値となっており、県平均と同じ数値まで改善できている。しかし、全国平均よりも数値が高い状況にあるので、引続き起債の新規発行を抑制しながら数値の減少に努める。

《その他》
類似団体平均と同じ数値となっているが、医療・介護保険や簡易水道・下水道施設への維持管理経費の繰出金が多額となっている。今後は、下水道会計については未加入者の加入促進、医療保険会計については健康増進と予防事業を進めて医療費の適正化を図って行く。

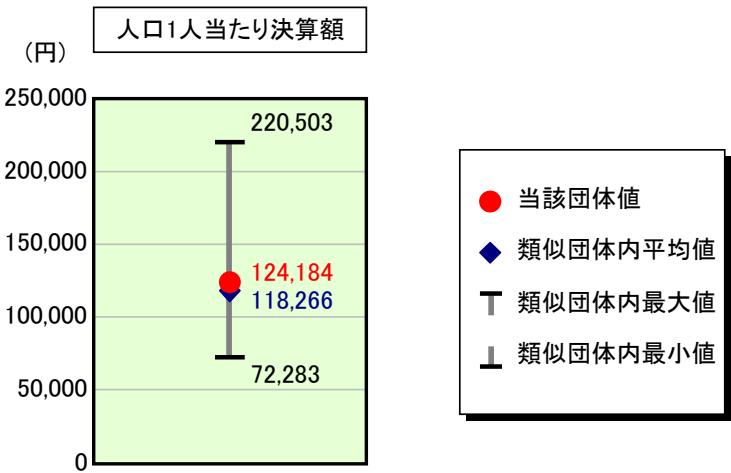
《普通建設事業費》
類似団体平均よりも低い数値となっているが、決算額で前年度より15.7%増となっている。主な要因としては防災行政無線施設整備事業(2億69百万円)を実施したためである。今後も町の振興計画に添って計画的に進めていく。



歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

熊本県 和水町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



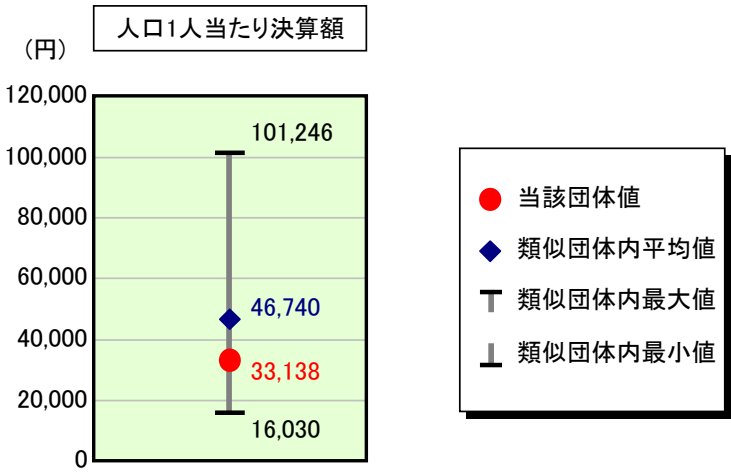
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,120,719	94,631	97,146	▲ 2.6
賃金 (物件費)	52,322	4,418	7,004	▲ 36.9
一部事務組合負担金 (補助費等)	187,791	15,857	17,970	▲ 11.8
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	147,127	12,423	1,069	1,062.1
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	56,401	4,762	4,591	3.7
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	31,560	2,665	1,944	37.1
▲退職金	▲ 125,203	▲ 10,572	▲ 11,457	▲ 7.7
合計	1,470,717	124,184	118,266	5.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	11.06	10.45	0.61
ラスパイレス指数	93.6	93.3	0.3

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

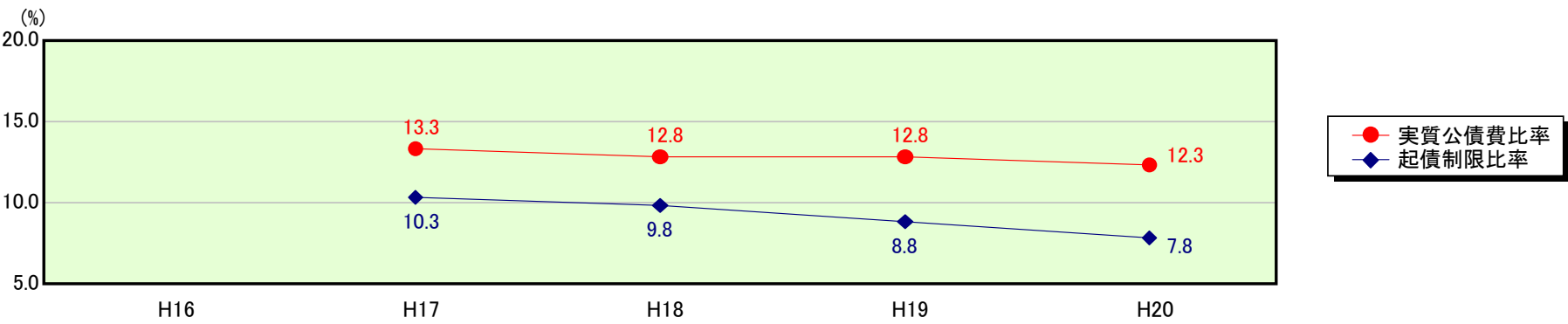


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	883,316	74,585	85,953	▲ 13.2
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額) 等	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	118,286	9,988	17,005	▲ 41.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	189,872	16,032	6,075	163.9
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	158	13	2,954	▲ 99.6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	23	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 799,180	▲ 67,481	▲ 65,270	3.4
合計	392,452	33,138	46,740	▲ 29.1

平成21年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体については、「-」としている (以下の項目について同じ。)。

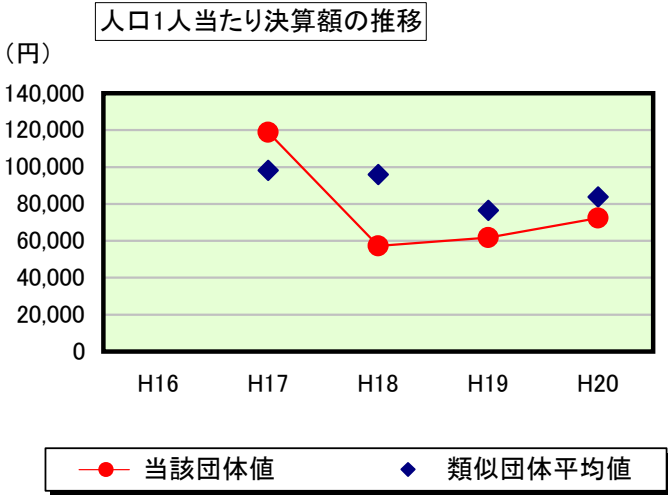
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

熊本県 和水町

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口 1 人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A) - (B)
H16	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H17	1,472,535	118,772	-	98,270	-	-
うち単独分	1,111,165	89,625	-	53,547	-	-
H18	698,063	57,251	▲ 51.8	95,963	▲ 2.3	▲ 49.5
うち単独分	588,529	48,268	▲ 46.1	51,372	▲ 4.1	▲ 42.0
H19	739,924	61,830	8.0	76,581	▲ 20.2	28.2
うち単独分	649,409	54,267	12.4	43,275	▲ 15.8	28.2
H20	855,906	72,271	16.9	83,771	9.4	7.5
うち単独分	745,575	62,955	16.0	41,478	▲ 4.2	20.2
過去 5 年間平均	941,607	77,531	▲ 9.0	88,646	▲ 4.4	▲ 4.6
うち単独分	773,670	63,779	▲ 5.9	47,418	▲ 8.0	2.1